



2019年5月10日

各位

会社名 株式会社デサント  
代表者名 代表取締役社長 石本雅敏  
(コード番号：8114 東証第一部)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 辻本謙一  
(TEL：06-6774-0365)

### 特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の連結決算及び個別決算において、それぞれ特別損失を計上する見込みとなりました。これらを受けて、2018年5月14日に公表した2019年3月期の連結業績予想及び2019年3月25日に公表した2019年3月期の個別業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上について

##### (1) 連結決算におけるのれんを含む無形固定資産の減損損失

当社連結子会社であるイノヴェイトグループ（PEDES INVESTMENTS LTD.他、同グループ子会社4社）の株式取得時にのれんを含む無形固定資産を計上いたしましたが、業績低迷により前連結会計年度にのれんの一部について減損損失を計上しました。但し、当連結会計年度も継続して業績が低迷していることに鑑み、今後の事業計画を大幅に見直すことといたしました。

これに伴い、回収可能価額について慎重に検討した結果、2019年3月期第4四半期において当該のれんを含む無形固定資産の帳簿価額の全額約1,817百万円を減損損失として特別損失を計上する見込みとなりました。

##### (2) 連結決算及び個別決算における債務保証損失引当金繰入額及びブランド整理損失

当社は、債務保証等による損失に備えるため、被保証先であるJamach Investments AGの財務状態等を勘案して、前連結会計年度において413百万円を債務保証損失引当金繰入額として損失負担見込額を特別損失に計上しております。

2019年3月期第4四半期に同社が破産手続きを開始することとなったため、当該債務保証残高の全額約471百万円を債務保証損失引当金繰入額として特別損失を計上する見込みとなりました。

なお、これに関連して当社が保有するスキンズブランド商標権等のブランド整理損失についても慎重に検討した結果、約131百万円の特別損失を計上する見込みとなりました。

### (3) 個別決算における関係会社株式評価損

「(1) 連結決算におけるのれんを含む無形固定資産の減損損失」と同様の理由により、当社連結子会社であるイノヴェイトグループの株式にかかる関係会社株式評価損約 855 百万円及び債務保証損失引当金繰入額約 2,366 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

なお、本特別損失は、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

### (4) 個別決算における関係会社株式評価損

当社連結子会社である DESCENTE NORTH AMERICA INC.の株式について「金融商品に関する会計基準」にもとづき同社の当面の収益性を保守的に見積もった結果、実質価額が著しく低下したと判断したため、関係会社株式評価損約 121 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

なお、本特別損失は、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

## 2. 連結業績予想との差異及び連結業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2018年5月14日時点)	148,000	9,600	10,000	6,500	86.24
今回修正予想(B) (2019年5月10日時点)	142,443	7,935	8,458	3,944	52.31
増 減 額(B-A)	△5,556	△1,665	△1,542	△2,556	
増 減 率(%)	△3.8	△17.3	△15.4	△39.3	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	141,124	9,596	9,698	5,771	76.59

### ●連結業績予想修正の理由

売上高の主な減額要因といたしましては、主にデサントジャパン株式会社及びデサント코리아株式会社の売上高未達によって当初予想を下回る見込みです。また、営業利益及び経常利益につきましても、デサントジャパン株式会社及びデサント코리아株式会社の、売上高未達による売上総利益額の減少額が大きく、当初予想を下回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、上記の要因に加え、冒頭に記載ののれん及び無形固定資産の減損処理による特別損失などを計上することにより、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

### 3. 個別業績予想との差異及び個別業績予想の修正について

2019年3月期通期個別業績予想値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2019年3月25日時点)	10,988	1,886	5,665	4,051	53.73
今回修正予想(B) (2019年5月10日時点)	10,990	1,754	5,529	955	12.68
増減額(B-A)	2	△132	△136	△3,096	
増減率(%)	0.0	△7.0	△2.4	△76.4	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	11,046	2,299	4,143	1,062	14.10

#### ●個別業績予想修正の理由

売上高は、概ね前回予想どおりに推移する見込みですが、営業利益、経常利益に関しては、売上総利益の減少により、前回予想を若干下回る見込みです。当期純利益は、それらに加え、冒頭に記載のイノヴェイトグループの株式に対して関係会社株式評価損及び債務保証損失引当金繰入額などを特別損失として計上することにより、当初計画を下回る見込みとなりました。

(注)上記予想は、現時点で得られた情報に基づいて算出しております。したがって実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上